

令和 8 年度第 1 回世界に誇れる環境先進都市かめおか協議会
議事要旨

◇開 会

◇会長あいさつ

- ・本協議会は、平成 30 年に「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」を行い、その宣言の中でどのような具体的な施策をしていくかという中で、5 年前に日本で初めての使い捨てプラスチック製レジ袋の配布提供禁止条例を作らせていただいた。
- ・それまでが本当に大変だったので条例施行がされた段階で 1 つの大きな仕事を終えたなと感じていたが、実はまだ続いていてプラスチックごみをゼロにするにはまだまだ遠い道のりがある。
- ・本日は令和 7 年、令和 8 年度の取り組みを詳しく説明させていただきたいと思う。
- ・本協議会でも令和 8 年度に様々な取り組みをしていくということで考えているので皆様も積極的に議論に参加して忌憚のない意見をいただきたいと考えているのでよろしくお願いしたい。

◇議 事

議題 1 「令和 7 年度の取組について」(事務局説明)

(亀岡地区中部自治会)

- ・京都新聞の記事で MEGURU ステーションを市内 23 か所に展開と書いてあったが実際にはどのような計画となっているのか。23 という数字を聞くと自治会の数を思い浮かべるがそれは非現実的だと感じる。

(事務局)

- ・MEGURU ステーションは単に環境だけでなく地域コミュニティを活性化させる上でも効果があると吉川の事例から分かる。本市として地域コミュニティというやはり自治会単位のようなものが最も適していると考えている。
ただ現状、国の交付金を活用して取り組みを進めていく予定であったが、R8 年度交付金が不採択となったことから、当面今年度については予定通り 8 ヶ所以上の拠点を整備していきたいと考えている。

(NPO 法人プロジェクト保津川)

- ・質問でなく補足になるが、昨年大阪で開催の万博があったが会場内レジ袋提供禁止だった。これは、亀岡市の条例をそっくりそのまま真似をさしてもらって、ルールを作った。

- ・他にもマイボトル用のウォーターサーバーをいっぱい設置をしたり、亀岡の花火大会でもおなじみのリユース食器を導入したりした。裏話を少しだけすると海外のパビリオンや海外の方が運営されてるレストランでは非常に頑張って利用いただいたが、日本のパビリオンほどごみが多かった。結果的には当初想定のごみの半分強ほどの6割ほどにとどめることができた。リサイクル率はリサイクルがより難しいごみだけが残る結果になったことから目標値より少し低くなったが、ただ単純に焼却をする、或いは埋め立てをするといったゴミはゼロということも実現した。亀岡市の条例があったからこそ成功だと思っている。

(NPO 法人プロジェクト保津川)

- ・追加で補足だが、毎年三重県の鈴鹿サーキットで開催のレースでもレジ袋は提供禁止になっていてその内容は亀岡市の条例と同等レベルで生分解プラスチックでも駄目となっている。これは、亀岡市の条例を参考にされたというよりは、F1がヨーロッパのスポーツなのでヨーロッパ基準でやらないと開催すらできないようになってきている。ペットボトルも実は販売禁止になって期間中は全自動販売機もペットボトル販売はなしになっている。プラスチック製の使い捨て食器も一切なく、ちょうどサンガスタジアムで取り組まれ始めたことと同じようなことが、他のスポーツや施設でも進められている。市町村レベルでの禁止条例はいまだ亀岡だけだが民間のイベント等でこの条例が参考にされていることをご紹介します。

議題2「令和8年度取組について」(事務局説明)

(NPO 法人プロジェクト保津川)

- ・廃食油の回収がスーパー2か所と市役所・ラボの計4か所にとどまっているが他の店舗でも回収があると助かるが増設の計画があるか伺う。特に説明にあったMEGURUステーションでの回収などイメージに合うと思うがどうか。
- ・2つ目にサッカー台のプラスチック製袋の適量利用の呼びかけについて、京都府も同じような動きがあったと記憶しているが連携していく予定があるのか、店舗も増やせば良いと思うがどのような計画か聞きたい。

(事務局)

- ・廃食油の回収場所の増設については、回収BOXの設置など店舗内の場所の確保等も必要になってき店舗にも一定の負担が生じる。現時点では増やしていく予定が具体的にあるわけではないが、できる限り利便性の向上を図っていきたいと思う。
- ・サッカー台の取り組みについて、京都府とも連携できる部分があればぜひ進めていきたい。また、店舗協力についてもぜひ広げていきたい。

(NP0 法人プロジェクト保津川)

- ・視察については、4月にフィジーの環境大臣がお越しになる予定だったが直前にイラン戦争の石油高騰で海外出張は全部キャンセルということになってお迎えできなかった。また機会を改めてぜひ伺いたいということだったのでお伝えしておく。

(NP0 法人プロジェクト保津川)

- ・今日はせっかくスーパーからも出席いただいているのでご意見をいただきたい。原油価格が高騰して、プラスチック包装の資材価格も高くなっている中で、自宅の近くのアルプラザさんがプラザが最近野菜やフルーツ売り場において以前に増して裸売りが増えたなあと感じている。
- ・京田辺市の環境審議会では、店舗に入ってくる前に包装されてるものは仕方がないが、店舗で包装する分を何とか減らせないかとなり、京田辺市の事業者の皆さんはぜひやりたいとおっしゃったそう。この点について現状、それぞれのスーパーで困っていることなどはないか。

(株式会社マツモト)

- ・毎年、パンを買ってシールを集めるとお皿がもらえるキャンペーンがある。これまでは、皿が割れないように古紙で包んでいた。今年は資源の削減や時代の流れを汲んでこれをなしにしたところお客様から失礼ではないかのご意見をもらった。まだまだ様々な感覚の方がいる中で、行政からもすでに色々手を打ってもらっているが継続して市民の意識啓発を進めていただくと我々もお願いしやすいと感じた一件であった。

(亀岡地区東部自治会)

- ・まさに昨日そのお皿を4枚裸でもらった。たまたま車に朝の朝刊広告が積んであったのですぐに自分で包んで持って帰った。時代だなと思いました。私は別に裸でいいと思う。気になる人は自分で包めばいいと思う。

(株式会社平和堂アル・プラザ亀岡)

- ・物価高による経費の増加の観点は実際にあると思う。
あとは家族構成がどんどん変化しており、4人暮らしの方が2人暮らしになったりとか、1人暮らしの方も非常に多くなっている中で、パッケージにすると逆に売れなくなって、ばら売りした方が売れるものもある。世の中の流れや資源の高騰、人件費の高騰など総合的に判断、模索しながら連携できればと思う。

(事務局)

- ・この話題に関わる資料を本日偶然にもご用意させていただいている。
- ・資料「斗々屋」に基づき説明
- ・ハードルもあるが環境の視点からも量り売りなど過剰包装への解決の1つになると思うので興味のある事業者様についてはぜひお声かけいただきたい。

(亀岡地区中部自治会)

- ・この内容において、ヨーロッパ等では飲み物での取り組みが進んでいる。その点について何か計画などないのか。

(事務局)

- ・飲料に関してデポジットなど進んでいる国もある。実はそれは昔の酒屋さんでは当たり前だった。それが便利な世の中になってきたがゆえに希薄になってきた。
- ・何か飲料の部分で進めていくとしたときに、例えばレジ袋提供禁止のように規制する条例をつくるといった手法がいいのか、それともインセンティブとして、回収すればお金が還元されるような手法にするのか、どんな取り組み方がいいのかはやってみないと分からない。飲料に限らず色々な取り組みを複合的に検討していきたいので皆様と議論していきたいと考えている。

(保津川の世界遺産登録をめざす会)

- ・ゴールデンウィークにバーベキューが多いことから 29 日に清掃活動を実施した。その中で最も多いのがペットボトル。やはりそもそも自販機でペットボトルの飲料を売らないような呼びかけや規制ができないものか。

(事務局)

- ・現時点では、まずは公共施設にある自販機からペットボトルの販売を減らしていくといったことがスタートだと考えている。それぞれの施設に設置の機会ごとにリニューアルのタイミングがあるのでそれを機会に減らせるよう調整を行いたいと思う。

(西日本旅客鉄道株式会社)

- ・亀岡市の取り組みにどの辺で協力できるかイメージしながら説明を聞いていた。サンガの試合では全国からサポーターが来てくれているので、駅での掲出物などは本来有料ではあるが社内協議をしてみて、この地域の取り組み情報を周知できたらよいと思った。
- ・また、視点を広げると亀岡駅以外の 3 駅は常時人が設置できていないことから、各駅で発生するごみの問題には悩んでいる。宣伝物や告知物を一緒に考えさせていただき、ごみを家庭に持って帰っていただく啓発などできれば我々としても嬉しい。具体的に何をどこまでできるか私も考えながら、また相談させていただきたい。

◇副会長あいさつ

- ・いろいろと貴重なご意見ありがとうございました。
- ・亀岡市の取り組みは大学においても実は色々なところで評価されている。
- ・今日の午前にあった会議では、大学に新たに政策学部ができたことから何か

フィールドワークを亀岡で組めないかといった会話もありました。

- ・また、ここ何年かは毎年全国の大学生数名から亀岡の事例について教えてほしいといった問い合わせもある。
- ・こういった形で自分の住んでるまちが有名になるのは住民の皆さんも嬉しいと感じると思う。今年は全国都市緑化フェアもある中で亀岡がさらに注目される年になると感じている。
- ・来てよかったなと思えるまちにしていきたいなと思うので皆さんと一緒に引き続き取り組んでいきたいのでよろしくお願いします。

◇閉 会